

関連科目、教科書および補助教材

| | |
|--------------|-----------------------|
| 関連科目 | 簿記概論 I |
| 教科書 | 「新簿記 新訂版」 安藤英義著（実教出版） |
| 補助教材等 | プリント |

学習上の留意点

簿記概論 I に引き続き、各種取引の仕訳と記帳方法について学習し、決算の意味と手続きに関する知識と技能を習得することによって、簿記一巡の流れについての理解を深める。さらに、より複雑な取引の記帳や決算整理などについても学習し、日商簿記検定3級合格を確実なものにしていくとともに、上級簿記への連携も視野に入れて学習を進める。これによって、企業の諸活動を貨幣金額により客観的に把握する能力の向上を図りたい。

担当教員からのメッセージ

簿記概論 II では、期末における決算を中心として、授業を進めていきます。決算は正確に経営成績と財政状態を計算することに不可欠、また重要な一環です。決算および財務諸表の作成は、簿記概論 I で学習した各種取引の仕訳や記帳に基づいて、行うことです。勉強した内容をしっかり復習する必要があります。

| 授 業 の 明 細 | | | |
|--------------------|--|---|--------------------|
| 回 | 授業内容 | 到達目標 | 自学自習の内容 (予習・復習) |
| 1 | ガイダンス | ・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、および評価方法などを説明できる。 | 適宜指示する。 |
| 2 | 商品売買取引に関する決算仕訳 | ・商品売買取引に関する決算仕訳ができる。 ・仕入勘定を通じて、当期売上原価の計算ができる。 | 適宜指示する。 |
| 3 | 掛取引と手形取引に関する決算仕訳 | ・掛取引と手形取引に関する決算仕訳ができる。 ・貸倒引当金の見積もりおよび会計処理ができる。 | 適宜指示する。 |
| 4 | 売買目的有価証券に関する決算仕訳 | ・売買目的有価証券の評価損益を説明でき、売買目的有価証券に関する決算仕訳ができる。 | 適宜指示する。 |
| 5 | 固定資産に関する決算仕訳 | ・減価償却を説明でき、固定資産に関する決算仕訳ができる。 | 適宜指示する。 |
| 6 | 費用・収益に見越しと繰延べ① | ・決算にあたって、費用と収益の金額を調整する意義を説明できる。 | 適宜指示する。 |
| 7 | 費用・収益に見越しと繰延べ② | ・決算にあたって、費用と収益の金額を調整し、当期費用および当期収益を計算できる。 | 適宜指示する。 |
| 8 | 試算表 | ・試算表の種類と特徴、および作成方法を説明できる。 | 適宜指示する。 |
| 9 | 8桁精算表① | ・決算整理と8桁精算表の仕組みを説明できる。 | 適宜指示する。 |
| 10 | 8桁精算表② | ・決算整理と8桁精算表の作成ができる。 | 適宜指示する。 |
| 11 | 貸借対照表の作成 | ・貸借対照表の作成ができる。 | 適宜指示する。 |
| 12 | 損益計算書の作成 | ・損益計算書の作成ができる。 | 適宜指示する。 |
| 13 | 帳簿組織と伝票会計① | ・主要簿と代表的補助簿の概要、ならびに伝票と伝票会計を説明できる。 | 適宜指示する。 |
| 14 | 帳簿組織と伝票会計② | ・伝票を作成できる。 | 適宜指示する。 |
| | 期末試験 | | |
| 15 | 答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施 | ・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を説明できる。 | |
| 総 授 業 時 間 数 | | | 30 時間 |